

平成 29 年 10 月 26 日

長岡市教育委員会（定例会）会議録

長岡市教育委員会

1 日 時 平成 29 年 10 月 26 日 (木曜日)

午後 2 時 30 分から午後 3 時 25 分まで

2 場 所 教育委員会会議室

3 出席者

教育長 高橋 譲 委 員 鷲尾 達雄 委 員 羽賀 友信
委 員 青柳 由美子 委 員 大久保 真紀

4 職務のため出席した者

教育部長	金澤 俊道	子ども未来部長	波多 文子
教育総務課長	曾根 徹	教育施設課長	中村 仁
学務課長	佐藤 正高	学校教育課長	竹内 正浩
子ども家庭課長	大矢 芳彦	保育課長	大野 宏
青少年育成課長	伊津 芳彦	中央図書館長	山田 あゆみ
科学博物館長補佐	佐藤 陽子	学校教育課主幹兼管理指導主事	高橋 和久
学校教育課主幹兼管理指導主事	神林 俊之		

5 事務のため出席した者

教育総務課長補佐	星野 麻美	教育総務課庶務係長	佐藤 裕
教育総務課庶務係	金子 あゆみ	学校教育課企画推進係長	木村 和哉

6 議事日程

日程	議案番号	案 件
1		会議録署名委員について
2	第 39 号	長岡市立学校通学区域規則の一部改正について
3	第 40 号	長岡市教育委員会表彰被表彰者の決定について

7 会議の経過

(高橋教育長) これより教育委員会 10 月定例会を開会する。

◇日程第 1 会議録署名委員について

(高橋教育長) 日程第 1 会議録署名委員の指名を行う。会議録署名委員については、長岡市教育委員会会議規則第 19 条第 2 項の規定により、鷲尾委員及び大久保委員を指名する。

◇日程第 2 議案第 39 号 長岡市立学校通学区域規則の一部改正について

(高橋教育長) 日程第 2 議案第 39 号 長岡市立学校通学区域規則の一部改正について を議題とする。事務局の説明を求める。

(佐藤学務課長) この改正は、六日市小学校と山谷沢小学校の統合により、岡南小学校を設置すること、及び中野俣小学校を廃校にし、栃尾南小学校と統合することに伴い、通学区域を変更するものである。長岡市立学校通学区域規則別表第 1 の六日市小と山谷沢小をまとめ、学校名を岡南小に改める。また、中野俣小を削除し、栃尾南小の項中「半蔵金」を「半蔵金 西中野俣 東中野俣」に改める。また、附表 29 の項中「六日市町のうち（通称大川原の区域のみ）134 番」を削除する。施行期日は平成 30 年 4 月 1 日とする。

(高橋教育長) いずれも統合に伴う通学区域の一部変更であるが、質疑・意見はあるか。

(高橋教育長) これより採決に移る。本件は、原案のとおり決定することに異議ないか。

[「異議なし」と呼ぶ者あり]

(高橋教育長) 異議なしと認める。よって、本件は原案のとおり決定した。

◇日程第3 議案第40号 長岡市教育委員会表彰被表彰者の決定について

(高橋教育長) 日程第3 議案第40号 長岡市教育委員会表彰被表彰者の決定について を議題とする。事務局の説明を求める。

(曾根教育総務課長) このたび9月末で要件を満たした方がいたため、追加で審議をいただきたいものである。事前にヒアリングを行っていないため、内申課長が詳細を説明した後、表彰の可否の決定としたい。適の承認をいただいた際は、他の被表彰者と同様に11月7日にさいわいプラザで表彰を行う。

(佐藤学務課長) 長岡公立学校通学区域審議会委員の功績として1名を内申したい。表彰候補者は丸山正一さん。規則の第2条第3号に該当する。在職期間は、12年4月である。審議会は年1回の開催で、28名の委員で構成されている。この会では、望ましい教育環境の実現についてや公立学校中学校適正規模・適正配置に関する意見交換を行った。

(高橋教育長) 質疑・意見はあるか。

(高橋教育長) 8, 9月の定例会で教育委員会表彰被表彰者の審議を行ったが、今回何故1名だけ候補者が出てきたのか。

(佐藤学務課長) この審議委員の任期が9月末であり、任期満了で丸山氏から辞職の申出があり、表彰の要件を満たしたためこの時期の内申となった。

(高橋教育長) 基準となる年数を満たし、なおかつ辞任されたことにより要件を満たしたため、今回の定例会において被表彰者として適か否かを審議するということがよいか。

(佐藤学務課長) そうである。

(高橋教育長) それでは、表彰候補者について、被表彰者として適しているか否かを決定する。条項第3号の丸山正一さんについて「適」と決定してよいか。

[「異議なし」と呼ぶ者あり]

(高橋教育長) それでは「適」と決定する。

(高橋教育長) 以上をもって、本日の議案の審議については終了した。

(高橋教育長) 次に、協議報告事項に移る。最初に、総合教育会議の開催について事務局の説明を求める。

(曾根教育総務課長) 平成 29 年 11 月 22 日に総合教育会議を開催する。新教育委員会制度は、教育行政における責任体制を明確にしようという趣旨で、平成 27 年 4 月 1 日に施行された制度である。その際、総合教育会議の設置が各教育委員会に義務付けられた。予算の権限を有する首長と執行権限を有する教育委員会が、教育行政の方向性を共有するための協議の場である。会議は、市長と教育長、教育委員で構成し、教育行政の大綱の策定、重点的に講ずべき施策、緊急の場合に講ずべき措置について協議・調整を行う。また、開催については市長が必要と認めた時に開催し、招集・主宰するものである。市長が招集する会議は、市長事務部局に事務局を置くのが原則であるが、本市は教育委員会が事務局を担当している。これまで平成 27 年度に長岡市教育大綱の策定のため 3 回開催しているが、平成 28 年度は未開催である。11 月 22 日に開催予定の会議では、「部活動指導のあり方について」と「子どもの貧困対策について」意見交換を行いたい。部活動指導のあり方については、国が平成 29 年 4 月 1 日から部活動の外部指導員を学校職員として配置できるように法改正を行ったことや、中学校長会と行った協議、また部活動の主顧問に対して実施したアンケート調査の結果を踏まえ、今後の部活動指導のあり方や外部指導員の導入について市長と教育委員の間で意見を交換したいものである。子どもの貧困対策については、平成 27 年度に策定した「長岡市子育て・育ち“あい”プラン」で実施しているが、平成 31 年度のプラン改訂に向け、子ども・子育て会議にワーキング部会を設置し、総合的な貧困対策について検討している。そこで、総合教育会議では市が実施している支援施策や子どもの貧困の実態を把握した上で、ワーキング部会の検討内容を踏まえ、今後の貧困対策のあり方について意見交換をしたいものである。

(高橋教育長) 質疑・意見はあるか。

(高橋教育長) 総合教育会議は11月22日と決まっているが、11月定例会との時間的余裕はどれくらいあるのか。

(曾根教育総務課長) 定例会は11月16日を予定しているので、1週間ほどの余裕がある。

(高橋教育長) 平成27年度に前市長が総合教育会議を開催し、教育委員との話し合いを重ねて5年間の教育大綱を定めた。しかし、市長の交代があり、新市長に大綱について意見を求めたところ、早期に変える必要はないという考えであった。そこで今回の会議は、大綱を従来どおり進めていきながら、細かい内容に踏み込むことになる。会議の場で市長と教育について細かく意見交換を行えばよいと考えている。

(青柳委員) 会議の開催時期に規定はないとのことだが、市長が必要と感じた時や、担当部局が話し合いが必要と思った時に開催するという考え方でよいのか。

(高橋教育長) そのとおりである。大きな課題があった場合には、首長も交えて開催するという考え方であり、市長が主宰する会議であるので開催の判断は市長がする。しかし、今回は教育委員会側で課題と捉えていることを市長がどのように考えているのか意見交換を行いたい、という思いがあり、相談の上で開催するに至った。

(青柳委員) 承知した。

(高橋教育長) 次に、小学校統合に向けた状況報告について事務局の説明を求める。

(佐藤学務課長) 平成30年4月に統合予定である、2つの地域の状況について説明する。まず、六日市小学校と山谷沢小学校が統合し、平成30年4月から岡南小学校を新設する。校舎は現山谷沢小学校を改修して使用するが、校章・校歌・校旗は新しく制定した。校章については、平成29年3月から10月にかけて、児童や地域全世帯にデザインのアンケートを実施し、統合委員会で検討を重ね制定した。青と緑の色が使われており、現在それぞれの校章で使われている雪の結晶(山谷沢小学校)と、エノキの葉(六日市小学校)が重なり合い、2つの学校が1つの学校になる様子を形にしている。また、この形がこいのぼりの矢車の形を成しており、子どもたちの幸せを願う想いも込められている。背景に紺色を使用した校旗も制定し

た。校歌については、長岡出身のアコースティックユニット「ひなた」に作詞・作曲を依頼し、いま制作中である。ひなたは、9月に山谷沢小学校閉校記念事業「ひなたの夢先生」に招へいた縁から、統合委員会において検討した上で依頼を決定した。なお、歌詞に入れてほしい言葉などを児童にアンケートを実施し、アンケート結果を伝えている。12月末を目途に完成予定である。ひなたから、一度完成したものを児童や先生に聞いてもらい、テンポや歌いやすさなどの修正を加えていきたい、また、完成後練習をして、開校式で一緒に歌いたいと要望があった。現山谷沢小学校の改修については、岡南小学校の開校に向けて普通教室の床・壁の改修を行い、職員の数が増えるために職員室の拡張も行う。その他、中庭の整備や駐車場の拡張なども行う。夏休み期間中を活用して工事が始まっている部分もあり、順調に進んでいる。また、開校に合わせ、スクールバスを導入する予定である。これは主に六日市小学校区の児童が利用する。次に、中野俣小学校が平成30年4月に栃尾南小学校と統合する。統合にあたり、地域から中野俣小学校区の児童をスクールバス通学にするよう要望があった。スクールバスは、現在秋葉中学校のものを利用する。また、各校の閉校記念式典については、中野俣小学校は10月22日に行い、六日市小学校は11月11日、山谷沢小学校は11月18日に行う予定である。10月22日に行った中野俣小学校閉校式典には、市長や教育長、議長が出席し、児童9人全員で伝統芸能「廣大寺」の舞いや、地域への感謝を言葉や合唱で披露した。式典に引き続き、中野俣小学校の校歌が3番まで刻まれた閉校記念碑の除幕式を行った。また、2つの地域では統合する学校同士で児童の交流活動を行っている。

(高橋教育長) 質疑・意見はないか。

(鷲尾委員) 中野俣小学校は全校児童9人まで減ってからの統合だが、もっと早く統合できたのではないかと感じる。ここまで減少してからの統合になったのはなぜか。

(佐藤学務課長) 統合は地域の判断である。教育委員会からは児童数の推移などの情報を提供し、児童や保護者、地域の総意や意向を尊重してきた。その結果、平成28年度に最終的な統合の決断をした。

(高橋教育長) 中野俣小学校は、これまで児童数が少ないことを利点に様々な教育活動を行い、幾度となく全国的な教育活動の賞を受賞した。その背景には、学校だ

けでなく、地域が児童数は少ないがレベルの高い教育を行おうという考えで一生懸命教育活動に参加したからである。少人数により教育活動に影響があると判断すれば、教育委員会として地域を説得するが、小規模学校ゆえの活動を行っていること、地域の理解や協力を得ていることなどから無理に統合をすすめる事案ではなかったのである。

(高橋教育長) 他に質疑・意見はないか。

(高橋教育長) 次に、平成 29 年度第 1 回熱中！感動！夢づくり教育推進会議会議報告について 事務局の説明を求める。

(木村学校教育課企画推進係長) 10 月 5 日に、平成 29 年度第 1 回熱中！感動！夢づくり教育推進会議を開催した。年度半ばの開催であるが、会議内での発言や意見を来年度以降の予算要求に活かすため、昨年度に引き続きこの時期の開催としている。議題は 2 つあり、1 つ目は教育環境の変化に対応する今後の「熱中！感動！夢づくり教育」の方向性についてである。個々の事業について議論をする前に、事業全体の方向性について確認するため、社会状況や教育環境の変化に対して国全体の動きを意識しつつ議論のたたき台として今後の方向性を示したものを作成した。2 つ目は、熱中！感動！夢づくり教育事業の選択と集中についてである。主な発言は記載のとおりである。教員の多忙化の解消や働き方改革についての発言があった。また、乳幼児期教育のあり方等についての発言があった。

(高橋教育長) 質疑・意見の前に、議長である羽賀委員から補足はあるか。

(羽賀委員) 委員が一新され、時代背景を見直すためにイノベーションをかけ、経過報告をしてもらいたいと考えた。予算の関係もあるため、委員から要求することはできないが、最大限努力することでこの会議内容となった。

(青柳委員) 会議の発言の中で、複数の事業を統合し今年はこの事業をする！というものを力点にしてもいいのでは、とあるが、具体的にどの事業のことか。

(木村学校教育課企画推進係長) 近年、3 日間数学に取り組む数学アカデミーへの希望者が少なくなっているため、縮小化の提案をしたが、同様の事業であるサイエンスアカデミーと統合したらどうか、との意見がでた。

(青柳委員) 他にも具体的に名前が出てきた事業はあるか。

(竹内学校教育課長) 他にも、スポーツ事業において目的をよく考え、統合できる

ものはしたらどうか、という意見が出た。

(鷲尾委員) 若手教員の学ぶ場である錬成塾は今後も継続するのか。

(竹内学校教育課長) 今のところ継続していく考えである。

(鷲尾委員) 過去に参画した若手教員が、塾を経て成長を実感できた等の受講成果を事務局はどのように評価しているのか。

(竹内学校教育課長) 毎年度末に、本人と所属長に聞き取りをし、評価している。単年度ごとに錬成塾を開催しながら、講師が教員の状況を判断し、進め方の検討を重ね、来年度に活かしていこうと考えている。

(羽賀委員) 錬成塾は、力のない先生に力を付けてもらうのが当初の目的であったが、もっと力を付けたいという先生にも受講が広まった。発展的で良い。根本には、わかりやすい授業をすることがある。

(高橋教育長) 次に、「家庭でワクワクお手伝いポスターコンクール」審査会結果について事務局の説明を求める。

(伊津青少年育成課長) コンクールは「家庭で子どもに手伝いをさせよう運動」を推進するための取組である。出品状況は、長岡市内の小学生から 171 点、中学生から 17 点、合計 188 点の出品があった。審査は、デザイナーズネットワーク長岡推薦株式会社ネオスのアートディレクターである巻淵顕章郎審査員長をはじめ、長岡市三島郡学校教育研究協議会美術研究会会長である立川厚生審査員、同研究会副会長である小林学審査員、比後慎一審査員、長岡市教育委員会子ども未来部長波多文子審査員の 5 名で行った。審査結果は、小学生の部は黒条小学校 3 年高野竜空さん、中学生の部は東北中学校田村知佳子さんが大賞を受賞した。その他、優秀賞 4 名、奨励賞 2 名、入選 2 名を選定した。なお、大賞の 2 名は各学校で教育委員が表彰を行う。また、受賞作品は 11 月 11 日から 16 日までさいわいプラザ 1 階、11 月 18 日から 26 日までアオーレ長岡西棟 3 階市民協働センターで展示を行う。

(高橋教育長) 質疑・意見はないか。

(大久保委員) 毎年出品者が増えている印象だったが、今年は昨年に比べてだいぶ減っている。何か要因があったのか。

(伊津青少年育成課長) PR が足りなかったと感じている。出品状況の内訳をみると、昨年 1 校で 50 点の出品があった小学校と 40 点の出品があった小学校から今年

は出品がなく、その分の出品数が減少しているのが大きい。昨年はクラスや学年で取り組んで出品したのだと思う。

(高橋教育長) 以上で、協議報告事項を終える。

(高橋教育長) 次に、催し案内等について補足説明のある者は挙手願う。

(竹内学校教育課長) いきいき教育推進懇談会を、11月18日にアオーレ長岡にて行う。「実効性のある連携・協働のために！」をテーマに、良い連携を行っている十日町小学校と十日町コミセンの事例を発表し、その後、参加者全員でグループ協議を行う。また、キャリア教育推進事業特別授業「夢先生」を11月15日から11月17日に市内学校にて行う。11月25日には、アオーレ長岡で「ながおか夢フェスタ」を行う。山本保育園・桂保育園の園児による手話での「笑顔いきいき」や、各学校による発表や作品展示を行い、ひなたをゲストに迎える。

(山田中央図書館長) 詩人堀口大樹と長岡展を、11月28日から中央図書館美術センターで開催する。図書館が所蔵する6,000点の堀口大樹コレクションや郷土資料を中心に展示し、新潟県立近代美術館でも同様の展覧会を行っており、連携した事業である。また、平成30年が互尊文庫が開館して100年目にあたる。これを記念して10月15日から図書館についての思い出を市民から募集している。応募者には開館100周年記念特製缶バッジをプレゼントする。

(佐藤科学博物館長補佐) 長岡市民俗芸能公演会を、11月3日にアオーレ長岡で行う。各地域のまつりなどで見られる民俗芸能であるが、これらを一堂に会して広く市民に紹介する。また、10月27日から29日までと、11月3日から11月5日まで、馬高縄文館にて縄文をテーマにした縄文カフェをオープンする。これは、平成28年度ながおか仕事創造アイデア・コンテストで最優秀賞を受賞した長岡大学の学生のアイデアを形にしたものである。

(大矢子ども家庭課長) 11月に計5日にわたり、みしまコミュニティセンターとながおか市民防災センターで、思春期向け次代の親育成事業を行う。今回は三島中学校2年生と南中学校3年生が対象である。また、11月は児童虐待防止推進月間である。チラシを市役所の各窓口や保育園、小中学校に配り、推進を図りたいと考えている。

(高橋教育長) チラシにある児童相談所全国共通3桁ダイヤルは、スマートフォン

などの携帯電話や固定電話から3桁のダイヤルのみでつながるのか。

(大矢子ども家庭課長) そのとおりである。

(伊津青少年育成課長) 11月11日から26日までアオーレ長岡で、家庭でワクワクお手伝いポスターコンクール展示会を行う。また、ながおか市P連だより29号を発行した。第66回日本PTA全国研究大会の概要や定期総会の報告、PTA活動の紹介、第40回記念親善ソフトボール決勝大会の様子を掲載している。

(高橋教育長) 以上で本日の定例会を閉会する。

会議の次第を記載し、その相違ないことを証するために署名する。

長岡市教育委員会教育長

長岡市教育委員会委員

長岡市教育委員会委員